

作成日: 1996年 9月 17日

改訂日: 2016年 7月 1日

## 安 全 デ ー タ シ ー ト

### 1. 製品及び会社情報

製品の名称: ショーボンド BLシール(S)主剤  
 会社名: ショーボンドマテリアル株式会社  
 住所: 埼玉県川越市芳野台2-8-10  
 担当部門: 品質保証課  
 電話番号: 049(225)5611      F A X : 049(225)5616  
 緊急連絡先: 品質保証課      電話番号: 049(225)5611  
 整理番号: BLシール(S)主剤-06

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類

物理化学的危険性:	引火性液体	分類できない
健康に対する有害性:	急性毒性(経口)	区分5
	急性毒性(経皮)	区分5
	急性毒性(吸入:蒸気)	区分4
	皮膚腐食性/刺激性	区分2
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分2A
	呼吸器感作性	区分1
	皮膚感作性	区分1
	生殖細胞変異原性	区分1B
	発がん性	区分2
	生殖毒性	区分1
	標的臓器/全身毒性(単回暴露)	区分1
	標的臓器/全身毒性(反復暴露)	区分1
	吸引性呼吸器有害性	分類できない
環境に対する有害性:	水生環境急性有害性	区分2
	水生環境慢性有害性	分類できない

#### GHSラベル要素

絵表示又はシンボル:



注意喚起語: 危険

危険有害性情報: 飲み込むと有害のおそれ  
 皮膚に接触すると有害のおそれ  
 吸入すると有毒  
 皮膚刺激  
 重篤な眼への刺激  
 吸入するとアレルギー、喘息または、呼吸困難を起こすおそれ  
 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

遺伝子損傷による疾患のおそれ  
 発がんのおそれの疑い  
 生殖能または胎児への悪影響のおそれ  
 臓器の障害  
 長期にわたるまたは反復暴露による臓器の障害  
 水生生物に毒性

注意書き

- 予防策: 熱／火花／裸火／高温のもの のような着火源から遠ざけること。  
 屋外または換気の良い場所で使用すること。  
 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。  
 取り扱い後はよく手を洗うこと。  
 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。  
 粉塵／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。  
 環境への放出を避けること。
- 対 応: 火災の場合には、消化に粉末／炭酸ガス／泡消火器を使用すること。  
 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを  
 着用していて容易に外せる場合は外し、その後も洗浄を続けること。  
 飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。  
 皮膚に付着した場合: 多量の水と石けんで洗うこと。  
 汚染された衣類は直ちに脱ぎ、再使用する場合は洗濯すること。  
 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移動し、呼吸のしやすい姿勢で  
 休息させること。  
 下記の場合は直ちに医師の診断／手当を受けて下さい。  
 眼に入った場合、飲み込んだ場合、皮膚刺激が生じた場合、気分が悪い場合、  
 身体上の異常が生じた場合、暴露または暴露の懸念がある場合。  
 漏出物を回収すること。
- 保 管: 容器を密閉し、換気の良い冷暗所で、施錠するなど関係者以外が  
 立ち入れないような管理された場所で保管すること。
- 廃 棄: 内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に、  
 業務委託し廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別: 混合物

化学名又は一般名 (成分)	化審法	CAS No.	濃度又は 濃度範囲 (含有量%)	P R T R 法	労働安全衛生法 通知物質57条2
不飽和ポリエステル樹脂	登録済み	登録済み	25～35	該当しない	該当しない
スチレン	3-4	100-42-5	16.8	第1種No. 240	政令番号323
無水フタル酸	3-1334	85-44-9	1.1	第1種No. 413	政令番号553
二酸化ケイ素 (シリカ)	1-548	7631-86-9	10～20	該当しない	政令番号312

4. 応急措置

- 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる  
 場合は外し、その後も洗浄をつづけること。直ちに眼科医の診断を受ける。

- 皮膚に付着した場合： 布で素早く拭き取り、多量の水と石鹼で洗うこと。  
皮膚刺激、または、発疹が生じた場合は、医師の診断を受ける。
- 吸入した場合： 直ちに空気の新鮮な場所へ移動し、呼吸のしやすい姿勢で休息させること。  
気分が悪い時は、医師の診断を受ける。
- 飲み込んだ場合： ぬるめの食塩水を飲ませて吐き出させるよう努め、安静にして医師の診断を受ける。

#### 5. 火災時の措置

- 消火剤： 粉末、炭酸ガス、泡。
- 使ってはならない消火剤： 冷却の目的で霧状水は用いてもよいが、消火に棒状水を用いてはならない。
- 特有の消火方法： 可燃性のものを周囲から取り除く。  
消火活動は風上から消火する。  
高温にさらされる密閉容器は水をかけて冷却する。
- 消火を行う者の保護： 火災により有毒ガスやヒュームを発生するので、適切な呼吸用保護具を着用する。

#### 6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項： 保護具及び緊急時措置：直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離すること。関係者以外の立ち入りを禁止すること。  
作業者は適切な保護具(手袋、保護眼鏡等)を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避けること。風上に留まること。低地から離れること。
- 環境に対する注意事項： 河川等へ排出され、環境への影響を起ささないように注意する。  
大量の流出には盛り土などで囲って流出を防止する。
- 回収・中和： 漏出した接着剤を土砂、土のうに吸着させて回収する。  
漏出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。  
回収するときは、火花のでない器具を用いて回収する。
- 封じ込み及び浄化の方法・機材： 拡散を防止し、流出物をすくい取るか、又は、ウェス等を使用して空容器に回収する。
- 二次災害の防止策： 付近の着火源、高温体及び付近の可燃物を素早く取り除き、火災の発生を防ぐ。  
着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。

#### 7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い：
- 技術的対策： 不浸透性の手袋、保護眼鏡等の保護具を用意し、直接手や眼等人体に触れないようにする。
- 局所排気・全体換気： [8. ばく露防止及び保護措置]に記載の局所排気、全体換気を行なうこと。
- 安全な取扱い注意事項： 周辺で火気の使用、発生のないこと。  
使用前に取扱説明書を入手すること。  
すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。  
接触、吸入又は飲み込まないこと。  
粉じん、ヒュームを吸入しないこと。  
屋外又は換気の良い区域のみで使用すること。  
取扱い後は、よく手を洗うこと。
- 接触回避： 「10.安定性及び反応性」を参照。
- 保管：
- 技術的対策： 保管場所には危険物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設定を設けること。
- 保管条件： 着火源・熱源から離して、耐火構造・危険物施設で保管する。  
容器を密閉して換気の良いところで保管すること。  
施錠して保管すること。
- 混触禁止物質： 「10.安定性及び反応性」を参照。
- 容器包装材料： 消防法で規定されている容器を使用する。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策

換気の悪い場所では局所排気装置等の排気のための装置を設置する。  
電気機器は防爆構造とする。  
取扱い場所の近くには、洗顔、身体洗浄のための設備を設ける。

許容濃度

管理濃度: スチレン 20ppm  
許容濃度: スチレン 日本産業衛生学会勧告値:20ppm  
スチレン ACGIH(TWA) :20ppm

保護具

呼吸器の保護具: 有機ガス用防毒マスク 送気マスク  
手の保護具: 保護手袋  
眼の保護具: 保護眼鏡  
皮膚及び身体の保護具: 化学薬品が浸透しにくい作業衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態、形状等: パテ状  
色: 淡褐色  
臭い: 特異臭(スチレン臭)  
pH: データなし  
融点・凝固点: データなし  
沸点、初留点及び沸騰範囲: 145℃(スチレン)  
引火点: 33℃ 以上  
燃焼または爆発範囲: 上限6.1vol%、下限1.1vol%(スチレンより類推)  
蒸気圧: 600Pa(スチレン)  
蒸気密度: スチレン3.6  
比重: 1.65g/cm<sup>3</sup>  
溶解度: 水に不溶、アセトン、酢酸ブチルに可溶  
オクタノール／水分配係数: -  
自然発火温度: 490℃  
分解温度: データなし  
その他情報: データなし

10. 安定性及び反応性

安定性: 冷暗所で密閉状態では安定である。  
反応性: 知見なし。  
避けるべき条件: 金属粉等の混入、高温(50℃以上)での保管、火気。  
混触危険物質: 消防法危険物1, 6類と混載してはならない。  
危険有害な分解性生物: 知見なし。

11. 有害性情報

急性毒性 経口: 区分5 飲み込むと有害のおそれ  
成分情報: 不飽和ポリエステル樹脂[区分5]  
成分情報: スチレン[区分5]  
成分情報: 無水フタル酸[区分4]  
経皮: 区分5 皮膚に接触すると有害のおそれ  
成分情報: 不飽和ポリエステル樹脂[区分5]  
吸入: 区分4 吸入すると有毒  
成分情報: 不飽和ポリエステル樹脂[区分4]  
成分情報: スチレン[区分4]

皮膚腐食性及び皮膚刺激性:	区分2	皮膚刺激
	成分情報:	不飽和ポリエステル樹脂[区分2]
	成分情報:	スチレン[区分2]
	成分情報:	無水フタル酸[区分2]
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性:	区分2A	重篤な眼への刺激
	成分情報:	不飽和ポリエステル樹脂[区分2A]
	成分情報:	スチレン[区分2A]
	成分情報:	無水フタル酸[区分1]
呼吸器感作性:	区分1	吸入するとアレルギー、喘息または、呼吸困難を起こすおそれ
	成分情報:	不飽和ポリエステル樹脂[区分1]
	成分情報:	無水フタル酸[区分1]
皮膚感作性:	区分1	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
	成分情報:	不飽和ポリエステル樹脂[区分1]
	成分情報:	無水フタル酸[区分1]
生殖細胞変異原性:	区分1B	遺伝子損傷による疾患のおそれ
	成分情報:	スチレン[区分2]
発がん性:	区分2	発がんのおそれの疑い
	成分情報:	不飽和ポリエステル樹脂[区分2]
	成分情報:	スチレン[区分2]
生殖毒性:	区分1	生殖能または胎児への悪影響のおそれ
	成分情報:	不飽和ポリエステル樹脂[区分2]
	成分情報:	スチレン[区分1B]
	成分情報:	無水フタル酸[区分2]
特定標的臓器毒性(単回暴露):	区分1	臓器の障害
	成分情報:	不飽和ポリエステル樹脂[区分1]
	成分情報:	スチレン[区分1]
特定標的臓器毒性(反復暴露):	区分1	長期にわたるまたは反復暴露による臓器の障害
	成分情報:	不飽和ポリエステル樹脂[区分1]
	成分情報:	スチレン[区分1]
	成分情報:	無水フタル酸[区分1]
吸引性呼吸器有害性:	分類できない	

## 12. 環境影響情報

水生環境急性有害性:	区分2	水生生物に毒性
	成分情報:	不飽和ポリエステル樹脂[区分2]
	成分情報:	スチレン[区分2]
	成分情報:	無水フタル酸[区分3]
水生環境慢性有害性:	分類できない	
生態毒性:		
魚毒性:	スチレンTLm96 グッピー68ppm(淡水)	
残留性/分解性:	情報なし	
生体蓄積性:	情報なし	
土壌中の移動性:	情報なし	
オゾン層への有害性:	情報なし	

## 13. 廃棄上の注意

産業廃棄物(廃液と廃プラスチック類の混合物)として許可を受けた専門業者に委託する。  
 乾燥し固形状になったものは、廃プラスチック類として同様に処理する。  
 容器を廃棄するときは、内容物を完全に除去した後に処分する。  
 容器、機械装置等を洗浄した排液等を、地面や排水溝へ流さないこと。

14. 輸送上の注意

注意事項

取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。

容器の漏れのないことを確かめ、転倒・落下・損傷のないように積込み、荷崩れの防止を確実に行う。

国内規制

陸上輸送： 消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法による。

海上輸送： 船舶安全法に定められている運送方法に従う。

航空輸送： 航空法に定められている運送方法に従う。

国連分類： クラス4. 1(可燃性固体PGIII)

国連番号： 1325

15. 適用法令

消防法： 第2類引火性固体

毒物及び劇物取締法： 該当しない

労働安全衛生法 通知物質57条2(通知対象物)： スチレン (政令番号323)

二酸化ケイ素(シリカ) (政令番号312)

無水フタル酸 (政令番号553)

施行令第18条 名称を表示すべき有害物： スチレン (政令番号17-2)

有機溶剤中毒予防規則： 不飽和ポリエステル樹脂 スチレン 第二種有機溶剤等

化学物質管理促進法： スチレン 第1種指定化学物質(政令番号240)

無水フタル酸 第1種指定化学物質(政令番号413)

ジメチルアニリン 第1種指定化学物質(政令番号216)

化審法： 該当しない

悪臭防止法： スチレン 特定悪臭物質

大気汚染防止法： スチレン 有害大気汚染物質

海洋汚染防止法： スチレン 海洋汚染物質

16. その他の情報

注意事項：

本データは、工業的な一般的取扱いに際しての、安全な取扱いについて最新の情報を集め、記載したものです。必ずしも充分とはいえないので取扱いには充分注意して下さい。

新たな情報を入手した場合は、追加または改訂されることがあります。

本製品の取扱いに記載されている以外の他の化学物質を混ぜたり、特殊な条件で使用するときは、ユーザーが安全性の評価を実施してください。

参考文献

1)GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル、作業場の表示及び安全データシート(SDS):JIS Z 7253:2012)

2)GHS分類結果データベース、独立行政法人製品評価技術基盤機構ホームページ

3)原材料／製品メーカーMSDS

作成日: 1996年 9月 17日

改訂日: 2016年 7月 1日

## 安 全 デ ー タ シ ー ト

### 1. 製品及び会社情報

製品の名称: ショーボンド BLシール(S)硬化剤

会社名: ショーボンドマテリアル株式会社株式会社

住所: 埼玉県川越市芳野台2-8-10

担当部門: 品質保証課

電話番号: 049(225)5611

F A X : 049(225)5616

緊急連絡先: 品質保証課

電話番号: 049(225)5611

整理番号: BLシール(S)硬化剤-06

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類

物理化学的危険性:	引火性液体	区分外
健康に対する有害性:	急性毒性(経口)	区分外
	急性毒性(経皮)	分類できない
	急性毒性(吸入:蒸気)	分類できない
	皮膚腐食性/刺激性	分類できない
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分2B
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	区分2
	生殖毒性	分類できない
	標的臓器/全身毒性(単回暴露)	分類できない
標的臓器/全身毒性(反復暴露)	区分1	
吸引性呼吸器有害性	分類できない	
環境に対する有害性:	水生環境急性有害性	分類できない
	水生環境慢性有害性	分類できない

#### GHSラベル要素

絵表示又はシンボル:



注意喚起語: 危険

危険有害性情報:

眼への刺激

発がんのおそれの疑い

長期にわたるまたは反復暴露による臓器の障害

注意書き

- 予防策: 熱／火花／裸火／高温のもののような着火源から遠ざけること。  
 屋外または換気の良い場所で使用すること。  
 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。  
 取り扱い後はよく手を洗うこと。  
 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。  
 粉塵／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。  
 環境への放出を避けること。
- 対応: 火災の場合には、消化に粉末／炭酸ガス／泡消火器を使用すること。  
 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、その後も洗浄を続けること。  
 飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。  
 皮膚に付着した場合: 多量の水と石けんで洗うこと。  
 汚染された衣類は直ちに脱ぎ、再使用する場合は洗濯すること。  
 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移動し、呼吸のしやすい姿勢で休息させること。  
 下記の場合は直ちに医師の診断／手当を受けて下さい。  
 眼に入った場合、飲み込んだ場合、皮膚刺激が生じた場合、気分が悪い場合、身体上の異常が生じた場合、暴露または暴露の懸念がある場合。  
 漏出物を回収すること。
- 保管: 容器を密閉し、換気の良い冷暗所で、施錠するなど関係者以外が立ち入れないような管理された場所で保管すること。
- 廃棄: 内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に、業務委託し廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別: 混合物

化学名又は一般名 (成分)	化審法	CAS No.	濃度又は濃度範囲 (含有量%)	P R T R 法	労働安全衛生法 通知物質57条2
過酸化ベンゾイル	3-1349	94-36-0	25～35	該当しない	政令番号282
ジメチルフタレート	3-1301	131-11-3	5～10	該当しない	政令番号480
二酸化チタン	1-558	13463-67-7	5～10	該当しない	政令番号191
二酸化ケイ素 (シリカ)	1-548	7631-86-9	1～5	該当しない	政令番号312

4. 応急措置

- 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、その後も洗浄をつづけること。直ちに眼科医の診断を受ける。
- 皮膚に付着した場合: 布で素早く拭き取り、多量の水と石鹼で洗うこと。  
 皮膚刺激、または、発疹が生じた場合は、医師の診断を受ける。
- 吸入した場合: 直ちに空気の新鮮な場所に移動し、呼吸のしやすい姿勢で休息させること。  
 気分が悪い時は、医師の診断を受ける。
- 飲み込んだ場合: 直ちに水で口をすすぎ、医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

- 消火剤: 粉末、炭酸ガス、泡。



使ってはならない消火剤: 冷却の目的で霧状水は用いてもよいが、消火に棒状水を用いてはならない。  
 特有の消火方法: 可燃性のものを周囲から取り除く。  
 消火活動は風上から消火する。  
 高温にさらされる密閉容器は水をかけて冷却する。  
 消火を行う者の保護: 消火作業の際は、必ず耐熱性着衣などを着用する。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項: 保護具及び緊急時措置: 直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離すること。関係者以外の立ち入りを禁止すること。  
 作業者は適切な保護具(手袋、保護眼鏡等)を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避けること。風上に留まること。低地から離れること。  
 環境に対する注意事項: 河川等へ排出され、環境への影響を起こさないように注意する。  
 大量の流出には盛り土などで囲って流出を防止する。  
 回収・中和: 土砂等(の不燃物)で囲みビニールシート等でおおい、蒸気の発生を抑えながら回収する。  
 封じ込み及び浄化の方法・機材: 拡散を防止し、流出物をすくい取るか、又は、ウェス等を使用して空容器に回収する。  
 二次災害の防止策: 付近の着火源、高温体及び付近の可燃物を素早く取り除き、火災の発生を防ぐ。  
 着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。  
 関係箇所に通報し応援を求める。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い :

技術的対策: [8. ばく露防止及び保護措置]に記載の設備対策を行い、保護具を着用すること。  
 局所排気・全体換気: [8. ばく露防止及び保護措置]に記載の局所排気、全体換気を行なうこと。  
 安全な取扱い注意事項: 周辺で火気の使用、発生のないこと。  
 使用前に取扱説明書を入手すること。  
 すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。  
 接触、吸入又は飲み込まないこと。  
 粉じん、ヒュームを吸入しないこと。  
 屋外又は換気の良い区域のみで使用すること。  
 取扱い後は、よく手を洗うこと。  
 接触回避: 「10.安定性及び反応性」を参照。

保管 :

技術的対策: 他の薬品と同じ場所に置かない事。特に本品の分解を促進する酸類、アルカリ類、遷移金属化合物、アミン類、還元性物質など。  
 その他消防法、労働安全衛生法の法令に定めるところに従う。  
 保管条件: 直射日光を避け、冷暗所に保管する。  
 火気、熱源から遠ざけて保管する。  
 混触禁止物質: 「10. 安定性及び反応性」を参照。  
 容器包装材料: ガラス、ステンレス、ポリエチレン、テフロン

## 8. 暴露防止及び保護措置

設備対策

換気の悪い場所では局所排気装置等の排気のための装置を設置する。  
 電気機器は防爆構造とする。  
 取扱い場所の近くには、洗顔、身体洗浄のための設備を設ける。

許容濃度

管理濃度: 設定されていない。  
 許容濃度: 過酸化ジベンゾイル [ACGIH] TWA:5mg/m3

保護具

呼吸器の保護具： 有機ガス用防毒マスク 送気マスク  
 手の保護具： 保護手袋  
 眼の保護具： 保護眼鏡  
 皮膚及び身体の保護具： 化学薬品が浸透しにくい作業衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態、形状等： パテ状  
 色： 白色  
 臭い： 特になし  
 pH： データなし  
 融点・凝固点： データなし  
 沸点、初留点及び沸騰範囲： データなし  
 引火点： 引火点なし  
 燃焼または爆発範囲： データなし  
 蒸気圧： データなし  
 蒸気密度： データなし  
 比重： 1.99g/cm<sup>3</sup>  
 溶解度： 水に不溶。アセトン、クロロホルムに可溶  
 オクタノール／水分配係数： データなし  
 自然発火温度： データなし  
 分解温度： データなし  
 その他情報： データなし

10. 安定性及び反応性

安定性： 常温、常圧で安定。65℃以上で急激に反応する。  
 反応性： アミン類、酸、アルカリ等により爆発的に分解が促進される。  
 避けるべき条件： 酸類、アミン、還元性物質との同一場所での保管。  
 混触危険物質： 本製品の分解を促進する酸・アルカリ類、アミン類、重金属、還元性物質等の異物、および、木、紙、綿、織物等の可燃物との接触を避ける。  
 危険有害な分解性生物： ジフェニル、安息香酸、一酸化炭素。

11. 有害性情報

急性毒性 経口： 区分外  
 成分情報： 過酸化ベンゾイル[区分外]  
 経皮： 分類できない  
 吸入： 分類できない  
 皮膚腐食性及び皮膚刺激性： 分類できない  
 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性： 区分2B 眼への刺激  
 成分情報： ジメチルフタレート[区分2B]  
 成分情報： 二酸化チタン[区分2B]  
 呼吸器感作性： 分類できない  
 皮膚感作性： 分類できない  
 生殖細胞変異原性： 分類できない  
 発がん性： 区分2 発がんのおそれの疑い  
 成分情報： 二酸化チタン[区分2]  
 生殖毒性： 分類できない  
 特定標的臓器毒性(単回暴露)： 分類できない  
 特定標的臓器毒性(反復暴露)： 区分1 長期にわたるまたは反復暴露による臓器の障害  
 成分情報： 二酸化チタン[区分1]

吸引性呼吸器有害性： 分類できない

12. 環境影響情報

水生環境急性有害性： 分類できない

水生環境慢性有害性： 分類できない

生態毒性：

魚毒性： 過酸化ベンゾイル LC50/96h(ゼブラフィッシュ) 2.0mg/L(78%wet 品)

残留性／分解性： 過酸化ベンゾイル 84%BOD(微生物による分解度試験)

生体蓄積性： 情報なし

土壤中の移動性： 情報なし

オゾン層への有害性： 情報なし

13. 廃棄上の注意

産業廃棄物(廃液と廃プラスチック類の混合物)として許可を受けた専門業者に委託する。

乾燥し固形状になったものは、廃プラスチック類として同様に処理する。

容器を廃棄するときは、内容物を完全に除去した後処分する。

容器、機械装置等を洗浄した排液等を、地面や排水溝へ流さないこと。

14. 輸送上の注意

注意事項

取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。

容器の漏れのないことを確かめ、転倒・落下・損傷のないように積込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

国内規制

陸上輸送： 消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法による。

海上輸送： 船舶安全法に定められている運送方法に従う。

航空輸送： 航空法に定められている運送方法に従う。

国連分類： クラス5.2(酸化性物質類)有機過酸化物

国連番号： 3106

15. 適用法令

消防法： 指定可燃物合成樹脂類(その他のもの)(3000kg以上)

毒物及び劇物取締法： 該当しない

労働安全衛生法 通知物質57条2(通知対象物)： ジメチルフタレート (政令番号480)

二酸化ケイ素(シリカ) (政令番号312)

過酸化ベンゾイル (政令番号282)

二酸化チタン (政令番号191)

施行令第18条 名称を表示すべき有害物： 該当しない

有機溶剤中毒予防規則： 該当しない

化学物質管理促進法： 該当しない

化審法： 該当しない

16. その他の情報

注意事項：

本データは、工業的な一般的取扱いに際しての、安全な取扱いについて最新の情報を集め、記載したものです。必ずしも充分とはいえないので取扱いには充分注意して下さい。

新たな情報を入手した場合は、追加または改訂されることがあります。

本製品の取扱いに記載されている以外の他の化学物質を混ぜたり、特殊な条件で使用するときは、ユーザーが安全性の評価を実施してください。

参考文献

- 1) 化学物質等安全データシート(SDS)－第1部:内容及び項目の順序  
(JIS Z 7250:2010)
- 2) GHS分類結果データベース、独立行政法人製品評価技術基盤機構ホームページ
- 3) 原材料／製品メーカーSDS

作成日: 1996年 9月 17日

改訂日: 2016年 7月 1日

## 安 全 デ ー タ シ ー ト

### 1. 製品及び会社情報

製品の名称: ショーボンド BLシール(W)主剤  
 会社名: ショーボンドマテリアル株式会社  
 住所: 埼玉県川越市芳野台2-8-10  
 担当部門: 品質保証課  
 電話番号: 049(225)5611      F A X : 049(225)5616  
 緊急連絡先: 品質保証課      電話番号: 049(225)5611  
 整理番号: BLシール(W)主剤-06

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類

物理化学的危険性:	引火性液体	分類できない
健康に対する有害性:	急性毒性(経口)	区分5
	急性毒性(経皮)	区分5
	急性毒性(吸入:蒸気)	区分4
	皮膚腐食性/刺激性	区分2
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分2A
	呼吸器感作性	区分1
	皮膚感作性	区分1
	生殖細胞変異原性	区分1B
	発がん性	区分2
	生殖毒性	区分1
	標的臓器/全身毒性(単回暴露)	区分1
	標的臓器/全身毒性(反復暴露)	区分1
	吸引性呼吸器有害性	分類できない
環境に対する有害性:	水生環境急性有害性	区分2
	水生環境慢性有害性	分類できない

#### GHSラベル要素

絵表示又はシンボル:



注意喚起語:                    危険

危険有害性情報:            飲み込むと有害のおそれ  
                                  皮膚に接触すると有害のおそれ  
                                  吸入すると有毒  
                                  皮膚刺激  
                                  重篤な眼への刺激  
                                  吸入するとアレルギー、喘息または、呼吸困難を起こすおそれ  
                                  アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

遺伝子損傷による疾患のおそれ  
 発がんのおそれの疑い  
 生殖能または胎児への悪影響のおそれ  
 臓器の障害  
 長期にわたるまたは反復暴露による臓器の障害  
 水生生物に毒性

注意書き

- 予防策: 熱／火花／裸火／高温のもの のような着火源から遠ざけること。  
 屋外または換気の良い場所で使用すること。  
 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。  
 取り扱い後はよく手を洗うこと。  
 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。  
 粉塵／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。  
 環境への放出を避けること。
- 対 応: 火災の場合には、消化に粉末／炭酸ガス／泡消火器を使用すること。  
 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを  
 着用していて容易に外せる場合は外し、その後も洗浄を続けること。  
 飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。  
 皮膚に付着した場合: 多量の水と石けんで洗うこと。  
 汚染された衣類は直ちに脱ぎ、再使用する場合は洗濯すること。  
 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移動し、呼吸のしやすい姿勢で  
 休息させること。  
 下記の場合は直ちに医師の診断／手当を受けて下さい。  
 眼に入った場合、飲み込んだ場合、皮膚刺激が生じた場合、気分が悪い場合、  
 身体上の異常が生じた場合、暴露または暴露の懸念がある場合。  
 漏出物を回収すること。
- 保 管: 容器を密閉し、換気の良い冷暗所で、施錠するなど関係者以外が  
 立ち入れないような管理された場所で保管すること。
- 廃 棄: 内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に、  
 業務委託し廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別: 混合物

化学名又は一般名 (成分)	化審法	CAS No.	濃度又は 濃度範囲 (含有量%)	P R T R 法	労働安全衛生法 通知物質57条2
不飽和ポリエステル樹脂	登録済み	登録済み	25～35	該当しない	該当しない
スチレン	3-4	100-42-5	16.8	第1種No. 240	政令番号323
無水フタル酸	3-1334	85-44-9	1.1	第1種No. 413	政令番号553
二酸化ケイ素 (シリカ)	1-548	7631-86-9	10～20	該当しない	政令番号312

4. 応急措置

- 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる  
 場合は外し、その後も洗浄をつづけること。直ちに眼科医の診断を受ける。

- 皮膚に付着した場合： 布で素早く拭き取り、多量の水と石鹼で洗うこと。  
皮膚刺激、または、発疹が生じた場合は、医師の診断を受ける。
- 吸入した場合： 直ちに空気の新鮮な場所に移動し、呼吸のしやすい姿勢で休息させること。  
気分が悪い時は、医師の診断を受ける。
- 飲み込んだ場合： ぬるめの食塩水を飲ませて吐き出させるよう努め、安静にして医師の診断を受ける。

#### 5. 火災時の措置

- 消火剤： 粉末、炭酸ガス、泡。
- 使ってはならない消火剤： 冷却の目的で霧状水は用いてもよいが、消火に棒状水を用いてはならない。
- 特有の消火方法： 可燃性のものを周囲から取り除く。  
消火活動は風上から消火する。  
高温にさらされる密閉容器は水をかけて冷却する。
- 消火を行う者の保護： 火災により有毒ガスやヒュームを発生するので、適切な呼吸用保護具を着用する。

#### 6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項： 保護具及び緊急時措置：直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離すること。関係者以外の立ち入りを禁止すること。  
作業者は適切な保護具(手袋、保護眼鏡等)を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避けること。風上に留まること。低地から離れること。
- 環境に対する注意事項： 河川等へ排出され、環境への影響を起こさないように注意する。  
大量の流出には盛り土などで囲って流出を防止する。
- 回収・中和： 漏出した接着剤を土砂、土のうに吸着させて回収する。  
漏出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。  
回収するときは、火花のでない器具を用いて回収する。
- 封じ込み及び浄化の方法・機材： 拡散を防止し、流出物をすくい取るか、又は、ウェス等を使用して空容器に回収する。
- 二次災害の防止策： 付近の着火源、高温体及び付近の可燃物を素早く取り除き、火災の発生を防ぐ。  
着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。

#### 7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い：
- 技術的対策： 不浸透性の手袋、保護眼鏡等の保護具を用意し、直接手や眼等人体に触れないようにする。
- 局所排気・全体換気： [8. ばく露防止及び保護措置]に記載の局所排気、全体換気を行なうこと。
- 安全な取扱い注意事項： 周辺で火気の使用、発生のないこと。  
使用前に取扱説明書を入手すること。  
すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。  
接触、吸入又は飲み込まないこと。  
粉じん、ヒュームを吸入しないこと。  
屋外又は換気の良い区域のみで使用すること。  
取扱い後は、よく手を洗うこと。
- 接触回避： 「10.安定性及び反応性」を参照。
- 保管：
- 技術的対策： 保管場所には危険物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設定を設けること。
- 保管条件： 着火源・熱源から離して、耐火構造・危険物施設で保管する。  
容器を密閉して換気の良いところで保管すること。  
施錠して保管すること。
- 混触禁止物質： 「10.安定性及び反応性」を参照。
- 容器包装材料： 消防法で規定されている容器を使用する。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策

換気の悪い場所では局所排気装置等の排気のための装置を設置する。  
電気機器は防爆構造とする。  
取扱い場所の近くには、洗顔、身体洗浄のための設備を設ける。

許容濃度

管理濃度: スチレン 20ppm  
許容濃度: スチレン 日本産業衛生学会勧告値:20ppm  
スチレン ACGIH(TWA) :20ppm

保護具

呼吸器の保護具: 有機ガス用防毒マスク 送気マスク  
手の保護具: 保護手袋  
眼の保護具: 保護眼鏡  
皮膚及び身体の保護具: 化学薬品が浸透しにくい作業衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態、形状等: パテ状  
色: 淡褐色  
臭い: 特異臭(スチレン臭)  
pH: データなし  
融点・凝固点: データなし  
沸点、初留点及び沸騰範囲: 145℃(スチレン)  
引火点: 33℃ 以上  
燃焼または爆発範囲: 上限6.1vol%、下限1.1vol%(スチレンより類推)  
蒸気圧: 600Pa(スチレン)  
蒸気密度: スチレン3.6  
比重: 1.65g/cm<sup>3</sup>  
溶解度: 水に不溶、アセトン、酢酸ブチルに可溶  
オクタノール／水分配係数: -  
自然発火温度: 490℃  
分解温度: データなし  
その他情報: データなし

10. 安定性及び反応性

安定性: 冷暗所で密閉状態では安定である。  
反応性: 知見なし。  
避けるべき条件: 金属粉等の混入、高温(50℃以上)での保管、火気。  
混触危険物質: 消防法危険物1, 6類と混載してはならない。  
危険有害な分解性生物: 知見なし。

11. 有害性情報

急性毒性 経口: 区分5 飲み込むと有害のおそれ  
成分情報: 不飽和ポリエステル樹脂[区分5]  
成分情報: スチレン[区分5]  
成分情報: 無水フタル酸[区分4]  
経皮: 区分5 皮膚に接触すると有害のおそれ  
成分情報: 不飽和ポリエステル樹脂[区分5]  
吸入: 区分4 吸入すると有毒  
成分情報: 不飽和ポリエステル樹脂[区分4]  
成分情報: スチレン[区分4]



皮膚腐食性及び皮膚刺激性:	区分2	皮膚刺激
	成分情報:	不飽和ポリエステル樹脂[区分2]
	成分情報:	スチレン[区分2]
	成分情報:	無水フタル酸[区分2]
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性:	区分2A	重篤な眼への刺激
	成分情報:	不飽和ポリエステル樹脂[区分2A]
	成分情報:	スチレン[区分2A]
	成分情報:	無水フタル酸[区分1]
呼吸器感作性:	区分1	吸入するとアレルギー、喘息または、呼吸困難を起こすおそれ
	成分情報:	不飽和ポリエステル樹脂[区分1]
	成分情報:	無水フタル酸[区分1]
皮膚感作性:	区分1	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
	成分情報:	不飽和ポリエステル樹脂[区分1]
	成分情報:	無水フタル酸[区分1]
生殖細胞変異原性:	区分1B	遺伝子損傷による疾患のおそれ
	成分情報:	スチレン[区分2]
発がん性:	区分2	発がんのおそれの疑い
	成分情報:	不飽和ポリエステル樹脂[区分2]
	成分情報:	スチレン[区分2]
生殖毒性:	区分1	生殖能または胎児への悪影響のおそれ
	成分情報:	不飽和ポリエステル樹脂[区分2]
	成分情報:	スチレン[区分1B]
	成分情報:	無水フタル酸[区分2]
特定標的臓器毒性(単回暴露):	区分1	臓器の障害
	成分情報:	不飽和ポリエステル樹脂[区分1]
	成分情報:	スチレン[区分1]
特定標的臓器毒性(反復暴露):	区分1	長期にわたるまたは反復暴露による臓器の障害
	成分情報:	不飽和ポリエステル樹脂[区分1]
	成分情報:	スチレン[区分1]
	成分情報:	無水フタル酸[区分1]
吸引性呼吸器有害性:	分類できない	

## 12. 環境影響情報

水生環境急性有害性:	区分2	水生生物に毒性
	成分情報:	不飽和ポリエステル樹脂[区分2]
	成分情報:	スチレン[区分2]
	成分情報:	無水フタル酸[区分3]
水生環境慢性有害性:	分類できない	
生態毒性:		
魚毒性:	スチレンTLm96 グッピー68ppm(淡水)	
残留性/分解性:	情報なし	
生体蓄積性:	情報なし	
土壌中の移動性:	情報なし	
オゾン層への有害性:	情報なし	

## 13. 廃棄上の注意

産業廃棄物(廃液と廃プラスチック類の混合物)として許可を受けた専門業者に委託する。  
 乾燥し固形状になったものは、廃プラスチック類として同様に処理する。  
 容器を廃棄するときは、内容物を完全に除去した後に処分する。  
 容器、機械装置等を洗浄した排液等を、地面や排水溝へ流さないこと。

14. 輸送上の注意

注意事項

取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。

容器の漏れのないことを確かめ、転倒・落下・損傷のないように積込み、荷崩れの防止を確実に行う。

国内規制

陸上輸送： 消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法による。

海上輸送： 船舶安全法に定められている運送方法に従う。

航空輸送： 航空法に定められている運送方法に従う。

国連分類： クラス4. 1(可燃性固体PGIII)

国連番号： 1325

15. 適用法令

消防法： 第2類引火性固体

毒物及び劇物取締法： 該当しない

労働安全衛生法 通知物質57条2(通知対象物)： スチレン (政令番号323)

二酸化ケイ素(シリカ) (政令番号312)

無水フタル酸 (政令番号553)

施行令第18条 名称を表示すべき有害物： スチレン (政令番号17-2)

有機溶剤中毒予防規則： スチレン 第二種有機溶剤等

化学物質管理促進法： スチレン 第1種指定化学物質(政令番号240)

無水フタル酸 第1種指定化学物質(政令番号413)

ジメチルアニリン 第1種指定化学物質(政令番号216)

化審法： 該当しない

悪臭防止法： スチレン 特定悪臭物質

大気汚染防止法： スチレン 有害大気汚染物質

海洋汚染防止法： スチレン 海洋汚染物質

16. その他の情報

注意事項：

本データは、工業的な一般的取扱いに際しての、安全な取扱いについて最新の情報を集め、記載したものです。必ずしも充分とはいえないので取扱いには充分注意して下さい。

新たな情報を入手した場合は、追加または改訂されることがあります。

本製品の取扱いに記載されている以外の他の化学物質を混ぜたり、特殊な条件で使用するときは、ユーザーが安全性の評価を実施してください。

参考文献

1)GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル、作業場の表示及び安全データシート(SDS):JIS Z 7253:2012)

2)GHS分類結果データベース、独立行政法人製品評価技術基盤機構ホームページ

3)原材料／製品メーカーMSDS

作成日: 1996年 9月 17日

改訂日: 2016年 7月 1日

## 安 全 デ ー タ シ ー ト

### 1. 製品及び会社情報

製品の名称: ショーボンド BLシール(W)硬化剤  
 会社名: ショーボンドマテリアル株式会社  
 住所: 埼玉県川越市芳野台2-8-10  
 担当部門: 品質保証課  
 電話番号: 049(225)5611      F A X : 049(225)5616  
 緊急連絡先: 品質保証課      電話番号: 049(225)5611  
 整理番号: BLシール(W)硬化剤-05

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類

物理化学的危険性:	引火性液体	区分外
健康に対する有害性:	急性毒性(経口)	区分外
	急性毒性(経皮)	分類できない
	急性毒性(吸入:蒸気)	分類できない
	皮膚腐食性/刺激性	分類できない
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分2B
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	区分2
	生殖毒性	分類できない
	標的臓器/全身毒性(単回暴露)	分類できない
	標的臓器/全身毒性(反復暴露)	区分1
	吸引性呼吸器有害性	分類できない
環境に対する有害性:	水生環境急性有害性	分類できない
	水生環境慢性有害性	分類できない

#### GHSラベル要素

絵表示又はシンボル:



注意喚起語:                      危険

危険有害性情報:

眼への刺激  
 発がんのおそれの疑い  
 長期にわたるまたは反復暴露による臓器の障害

注意書き

- 予防策: 熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。  
 屋外または換気の良い場所で使用すること。  
 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。  
 取り扱い後はよく手を洗うこと。  
 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。  
 粉塵/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。  
 環境への放出を避けること。
- 対 応: 火災の場合には、消化に粉末/炭酸ガス/泡消火器を使用すること。  
 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、その後も洗浄を続けること。  
 飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。  
 皮膚に付着した場合: 多量の水と石けんで洗うこと。  
 汚染された衣類は直ちに脱ぎ、再使用する場合は洗濯すること。  
 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移動し、呼吸のしやすい姿勢で休息させること。  
 下記の場合は直ちに医師の診断/手当を受けて下さい。  
 眼に入った場合、飲み込んだ場合、皮膚刺激が生じた場合、気分が悪い場合、身体上の異常が生じた場合、暴露または暴露の懸念がある場合。  
 漏出物を回収すること。
- 保 管: 容器を密閉し、換気の良い冷暗所で、施錠するなど関係者以外が立ち入れないような管理された場所で保管すること。
- 廃 棄: 内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に、業務委託し廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別: 混合物

化学名又は一般名 (成分)	化審法	CAS No.	濃度又は濃度範囲 (含有量%)	P R T R 法	労働安全衛生法 通知物質57条2
過酸化ベンゾイル	3-1349	94-36-0	45~55	該当しない	政令番号282
ジメチルフタレート	3-1301	131-11-3	5~10	該当しない	政令番号480
二酸化チタン	1-558	13463-67-7	5~10	該当しない	政令番号191
二酸化ケイ素 (シリカ)	1-548	7631-86-9	1~5	該当しない	政令番号312

4. 応急措置

- 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、その後も洗浄をつづけること。直ちに眼科医の診断を受ける。
- 皮膚に付着した場合: 布で素早く拭き取り、多量の水と石鹼で洗うこと。  
 皮膚刺激、または、発疹が生じた場合は、医師の診断を受ける。
- 吸入した場合: 直ちに空気の新鮮な場所に移動し、呼吸のしやすい姿勢で休息させること。  
 気分が悪い時は、医師の診断を受ける。
- 飲み込んだ場合: 直ちに水で口をすすぎ、医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

- 消火剤: 粉末、炭酸ガス、泡。

使ってはならない消火剤: 冷却の目的で霧状水は用いてもよいが、消火に棒状水を用いてはならない。  
 特有の消火方法: 可燃性のものを周囲から取り除く。  
 消火活動は風上から消火する。  
 高温にさらされる密閉容器は水をかけて冷却する。  
 消火を行う者の保護: 消火作業の際は、必ず耐熱性着衣などを着用する。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項: 保護具及び緊急時措置: 直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離すること。関係者以外の立ち入りを禁止すること。  
 作業者は適切な保護具(手袋、保護眼鏡等)を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避けること。風上に留まること。低地から離れること。  
 環境に対する注意事項: 河川等へ排出され、環境への影響を起こさないように注意する。  
 大量の流出には盛り土などで囲って流出を防止する。  
 回収・中和: 土砂等(の不燃物)で囲みビニールシート等でおおい、蒸気の発生を抑えながら回収する。  
 封じ込み及び浄化の方法・機材: 拡散を防止し、流出物をすくい取るか、又は、ウェス等を使用して空容器に回収する。  
 二次災害の防止策: 付近の着火源、高温体及び付近の可燃物を素早く取り除き、火災の発生を防ぐ。  
 着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。  
 関係箇所に通報し応援を求める。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い :

技術的対策: [8. ばく露防止及び保護措置]に記載の設備対策を行い、保護具を着用すること。  
 局所排気・全体換気: [8. ばく露防止及び保護措置]に記載の局所排気、全体換気を行なうこと。  
 安全な取扱い注意事項: 周辺で火気の使用、発生のないこと。  
 使用前に取扱説明書を入手すること。  
 すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。  
 接触、吸入又は飲み込まないこと。  
 粉じん、ヒュームを吸入しないこと。  
 屋外又は換気の良い区域のみで使用すること。  
 取扱い後は、よく手を洗うこと。  
 接触回避: 「10.安定性及び反応性」を参照。

保管 :

技術的対策: 他の薬品と同じ場所に置かない事。特に本品の分解を促進する酸類、アルカリ類、遷移金属化合物、アミン類、還元性物質など。  
 その他消防法、労働安全衛生法の法令に定めるところに従う。  
 保管条件: 直射日光を避け、冷暗所に保管する。  
 火気、熱源から遠ざけて保管する。  
 混触禁止物質: 「10. 安定性及び反応性」を参照。  
 容器包装材料: ガラス、ステンレス、ポリエチレン、テフロン

## 8. 暴露防止及び保護措置

設備対策

換気の悪い場所では局所排気装置等の排気のための装置を設置する。  
 電気機器は防爆構造とする。  
 取扱い場所の近くには、洗顔、身体洗浄のための設備を設ける。

許容濃度

管理濃度: 設定されていない。  
 許容濃度: 過酸化ジベンゾイル [ACGIH] TWA:5mg/m3

保護具

呼吸器の保護具： 有機ガス用防毒マスク 送気マスク  
 手の保護具： 保護手袋  
 眼の保護具： 保護眼鏡  
 皮膚及び身体の保護具： 化学薬品が浸透しにくい作業衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態、形状等： パテ状  
 色： 白色  
 臭い： 特になし  
 pH： データなし  
 融点・凝固点： データなし  
 沸点、初留点及び沸騰範囲： データなし  
 引火点： 引火点なし  
 燃焼または爆発範囲： データなし  
 蒸気圧： データなし  
 蒸気密度： データなし  
 比重： 1.99g/cm<sup>3</sup>  
 溶解度： 水に不溶。アセトン、クロロホルムに可溶  
 オクタノール／水分配係数： データなし  
 自然発火温度： データなし  
 分解温度： データなし  
 その他情報： データなし

10. 安定性及び反応性

安定性： 常温、常圧で安定。65℃以上で急激に反応する。  
 反応性： アミン類、酸、アルカリ等により爆発的に分解が促進される。  
 避けるべき条件： 酸類、アミン、還元性物質との同一場所での保管。  
 混触危険物質： 本製品の分解を促進する酸・アルカリ類、アミン類、重金属、還元性物質等の異物、および、木、紙、綿、織物等の可燃物との接触を避ける。  
 危険有害な分解性生物： ジフェニル、安息香酸、一酸化炭素。

11. 有害性情報

急性毒性 経口： 区分外  
 成分情報： 過酸化ベンゾイル[区分外]  
 経皮： 分類できない  
 吸入： 分類できない  
 皮膚腐食性及び皮膚刺激性： 分類できない  
 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性： 区分2B 眼への刺激  
 成分情報： ジメチルフタレート[区分2B]  
 成分情報： 二酸化チタン[区分2B]  
 呼吸器感作性： 分類できない  
 皮膚感作性： 分類できない  
 生殖細胞変異原性： 分類できない  
 発がん性： 区分2 発がんのおそれの疑い  
 成分情報： 二酸化チタン[区分2]  
 生殖毒性： 分類できない  
 特定標的臓器毒性(単回暴露)： 分類できない  
 特定標的臓器毒性(反復暴露)： 区分1 長期にわたるまたは反復暴露による臓器の障害  
 成分情報： 二酸化チタン[区分1]

吸引性呼吸器有害性： 分類できない

12. 環境影響情報

水生環境急性有害性： 分類できない

水生環境慢性有害性： 分類できない

生態毒性：

魚毒性： 過酸化ベンゾイル LC50/96h(ゼブラフィッシュ) 2.0mg/L(78%wet 品)

残留性／分解性： 過酸化ベンゾイル 84%BOD(微生物による分解度試験)

生体蓄積性： 情報なし

土壤中の移動性： 情報なし

オゾン層への有害性： 情報なし

13. 廃棄上の注意

産業廃棄物(廃液と廃プラスチック類の混合物)として許可を受けた専門業者に委託する。

乾燥し固形状になったものは、廃プラスチック類として同様に処理する。

容器を廃棄するときは、内容物を完全に除去した後処分する。

容器、機械装置等を洗浄した排液等を、地面や排水溝へ流さないこと。

14. 輸送上の注意

注意事項

取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。

容器の漏れのないことを確かめ、転倒・落下・損傷のないように積込み、荷崩れの防止を確実に行う。

国内規制

陸上輸送： 消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法による。

海上輸送： 船舶安全法に定められている運送方法に従う。

航空輸送： 航空法に定められている運送方法に従う。

国連分類： クラス5.2(酸化性物質類)有機過酸化物

国連番号： 3106

15. 適用法令

消防法： 指定可燃物合成樹脂類(その他のもの)(3000kg 以上)

毒物及び劇物取締法： 該当しない

労働安全衛生法 通知物質57条2(通知対象物)： ジメチルフタレート (政令番号480)

二酸化ケイ素(シリカ) (政令番号312)

過酸化ベンゾイル (政令番号282)

二酸化チタン (政令番号191)

施行令第18条 名称を表示すべき有害物： 該当しない

有機溶剤中毒予防規則： 該当しない

化学物質管理促進法： 該当しない

化審法： 該当しない

16. その他の情報

注意事項：

本データは、工業的な一般的取扱いに際しての、安全な取扱いについて最新の情報を集め、記載したものです。必ずしも充分とはいえないので取扱いには充分注意して下さい。

新たな情報を入手した場合は、追加または改訂されることがあります。

本製品の取扱いに記載されている以外の他の化学物質を混ぜたり、特殊な条件で使用するときは、ユーザーが安全性の評価を実施してください。

参考文献

- 1) GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル、作業場の表示及び安全データシート(SDS) :JIS Z 7253:2012)
- 2) GHS分類結果データベース、独立行政法人製品評価技術基盤機構ホームページ
- 3) 原材料／製品メーカーMSDS